

仙台陣屋かわら版

第八十二号

(平成二十三年十二月号)

HP: <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ka/jinya/> Mail: jinya@town.shiraoi.jp
〒059-0912 白老町陣屋町六八一 TEL&FAX 0144-85-2666 仙台藩白老元陣屋資料館発行

三好先生「来町



〈左：三好先生御一行(左端が先生です)、右：三好監物自画像〉

んであり、耳鼻咽喉科のない白老のため、一九八八年から毎年ご好意で訪れ、町内の

ときは江戸末期の安政二(一八五五年。蝦夷地視察の後に白老を元陣屋造営の候補地として報告し、後年には陣屋の御備頭(おそなえがしら)として赴任した【三好監物(けんもつ)】。そのご子孫にあたる三好彰先生が、十月十八日(二十一日)にかけ、白老を訪れました。先生は仙台市内で耳鼻咽喉科クリニックを営

小中学校の児童生徒の検診をしてくださっています。白老町は仙台市と歴史姉妹都市を結び、今年で三十周年を迎えましたが、この一五〇年以上にわたる縁は、三好先生とのつながりにみるように、白老町の宝と言っても過言ではないでしょう。

毎年来てくださる三好先生、スタッフの皆さん、いつもありがとうございます。これからもこの良き縁を、いつまでも大切にしていきたいと思えます。

陣屋資料館友の会会員高橋氏 平成23年秋の叙勲「瑞宝小綬章」受章

高橋淳一氏は白老町虎杖浜出身。道教育庁をはじめ、芦別工業、芦別総合技術、室蘭工業、札幌琴似工業の各校で校長を務められました。受章に際し「多くの失敗と反省を重ねながらも、充実した日々であった上司・同僚の薫陶(くんとう)と支援、生徒そして保護者の方々との交流、その一つ一つの思い出は私の貴重な財産。この度の

受章は支えてくれた方々の代表としてであり、心から感謝を申し上げたい」と語られました。また友の会会員として、改めて

「学校教育と資料館との連携」、「生涯学習機関として来館者の理解度を高めるための研修のあり方」などを模索していきたいと抱負を述べられました。

専門教育は教育の原点であり、教育の根幹的な部分を受け持っていると自負。「例えば、専門学科は、【物づくり】の中で基礎的な技術、協調性、勤労観、成就感に伴う感動と喜びなど心の豊かさを育てる。人間形成を考える上でも、生涯教育の基礎となる学び方、社会人としての生きていくための力と勇気を蓄えるためにも大切なこと」と語られました。現在でもその経験を活かし、専門学校の顧問・理事としてスペシャリストの育成に関わる一方、地域では陣屋資料館友の会、文化祭の実行委員長など精力的に活動されています。改めまして、この度の受章、誠におめでとうございます。



〈友の会会員の高橋淳一先生〉

緑丘小五年生が陣屋を取材

NHK室蘭放送局が主催する「放送体験クラブ」に、緑丘小学校の五年生が挑戦するそうです。社会科学習の一貫としてテレビ局の仕事を学ぶことを目的に、自分たちで計画・制作する番組の取材場所として、仙台陣屋資料館を選んでくれました。

ただ「仙台陣屋で一番古いものは何ですか？」という、事前に渡された質問内容を見たときは、正直なところちよっと困りました。子どもたちが一生懸命考えてくれた質問だし、テレビで放映されるものなので、単に古さだけを追求した資料では、好奇心を満足させるためにも宣伝効果としても、やや迫力に欠けてしまう可能性がありました。回答時間は一つの設問に対し、およそ十秒余り。簡潔に言えてしかも伝えやすい資料となると、これは結構ハードルが高いわけです。

さて、資料館の用意した資料が何かは是非テレビ放映を待ってお確かめください。放映日はまだ決まっていませんが、判明し次第、資料館のHPでもお報せします。

刀剣リフレッシュ♪

十一月八・九日の二日間にわたり、竹浦在住の刀剣愛好家 横山敏夫さんが、資料館

所蔵の刀剣を手入れに来て

くださいました。横山さんは平成十三年から半年に一度の割合で、

資料館の刀剣手入れをしてくださっており、館で開催

する刀剣展などの催しの際にも、様々な支援をいただいています。

資料館に所蔵されている刀剣の多くは、町内の方々から寄贈・寄託を受けたもので、中には、白老に深く関わった三好監物が所持していた刀や、白老町で作刀に励んだ刀工・渡部安秀の作品などもあります。これら白老と結びつきの深い刀剣たちを、これからも横山さんと一緒に守っていかねばと思います。

今年の冬は武士になろう！

武士になろうとは言っても、決してまげを結ったり切腹したりするわけではありません。資料館所蔵の試着用鎧兜(大人用約二十kg、子ども用約十二kg)を、皆さんに試着してもらおうべく、今年の冬も企画いたし



〈横山さん、いつもありがとうございます！〉

ました。昨年はずっとSTV"どさんこぶらり旅"にて、資料館なら

びに史跡が取り上げられ、あまやひでおきりポーターが試着を体験してくれました。

期間は十二月三日(土)から三月三十一日(土)までの毎週土曜日(十二月三十一日を除く)、陣屋資料館にて実施します。老若男女を問わずご試着できますので、是非とも資料館までお越しください。今年の冬、思い出づくり・話題づくりにいかがですか？お待ちしております。

なお、事前のご予約は必要ありませんが、混雑回避・待ち時間短縮のため、お電話いただいた方を優先させていただきます。

お 報 せ

資料館は次の期間休館となります。ご注意ください。二〇二二年も陣屋資料館をよろしく願います。

十二月三十一日(土)～一月五日(木)

「仙台陣屋かわら版 第八十二号(平成二十三年十二月号)」

発行日: 平成二十三年十一月二十二日(火)

発行所: 仙台藩白老元陣屋資料館 担当者: 平野・干場



〈あまや侍の勇士〉